学園だより

令和８(2026)年 10 月 30 日

小中一貫校むくのき学園
大阪市立啓発小学校
大阪市立中島中学校

木々の葉が色づき始め、朝夕には爽やかな秋風が感じられる季節となりました。保護者のみなさま、地域のみなさまにおかれましては、日頃より本校の教育活動に対し、温かいご理解とご支援をいただき、心より感謝申しあげます。

さて、いよいよ今週末 10 月 31 日（土）に「運動会」が予定されています。10 月に入り、運動会の取り組みを進めています。練習風景を見ていますと、グラウンドいっぱいに響き渡る子どもたちの元気な声、仲間と心をひとつにしてバトンをつなぐ真剣なまなざし、そして自分の持てる力を出し切ろうと懸命に走る姿は、胸を熱くさせます。

子どもたちの懸命な姿を見つめていると、あらためて「運動会とは、学校における大切な『学びの舞台』である」と強く感じます。

学校における運動会は、単に走る速さや跳ぶ高さを競うだけの行事ではありません。それは、子どもたち一人ひとりが「自分を超え、仲間とつながる」ための大切な成長の舞台です。

「去年よりも速く走りたい」「苦手なダンスに挑戦したい」「リーダーとしてみんなと息を合わせた表現を成功させたい」。そうした内なる目標に向かって自分自身が挑戦し、昨日の自分を超える経験は、子どもたちの心に大きな自信と自己有用感を育みます。

同時に、運動会は決して一人では成し遂げられない行事です。リレーのバトンを繋ぐとき、クラス全員で競技に挑むとき、集団演技で心をひとつにするとき、子どもたちは「仲間」の存在の大きさに気づきます。友人の成功を自分のことのように喜び、失敗した仲間には「大丈夫だよ」と温かい声をかけ、励まし合う。共に壁を乗り越え、喜びを分かち合う中で育まれる絆は、これからの学校生活を支えるかけがえのない財産となります。

保護者・地域のみなさまにおかれましては、ぜひ当日、子どもたちに温かいご声援を送っていただきますようお願い申しあげます。子どもたちが重ねてきた努力の成果と、きらきらと輝く笑顔を、どうぞご期待ください。

国際バカロレア(IB)認定校をめざして

10の学習者像とは？

国際バカロレア（IB）の「10の学習者像」とは、IBがめざす国際的な視野をもつ人間の人間性を10の人物像として表したものです。本号では、**「コミュニケーションができる人」**を紹介します。

自信をもって自分の考えや気持ちを表現するとともに、他の人の考えや気持ちに耳を傾け、大切にできる人です。言葉だけでなく、さまざまな方法で思いを伝え合い、互いのちがいを認めながら理解を深めていきます。

学校では、授業や行事等における話し合いや協働的な学習を通して、自分らしく表現し、よりよい関係を築く力の育成に努めます。



ChatGPT（OpenAI）より作成